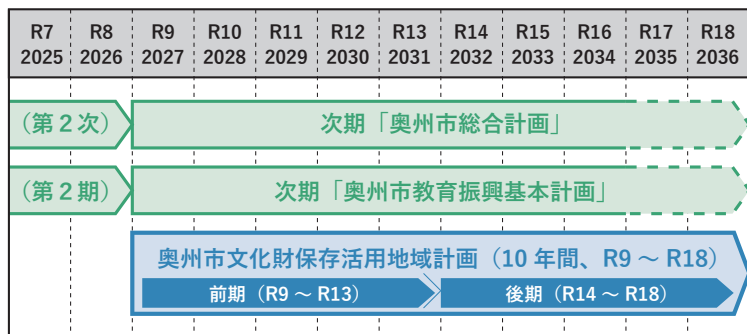


奥州市文化財保存活用地域計画（素案）の構成 令和7年9月

奥州市の歴史文化を特徴づける文化財を後世に伝えるため、行政のみではなく、市民や市外の研究機関などの多様な主体との協働によって文化財の保存・活用を進めるべく、「奥州市文化財保存活用地域計画」を作成し、様々な取り組みを実施していきます。

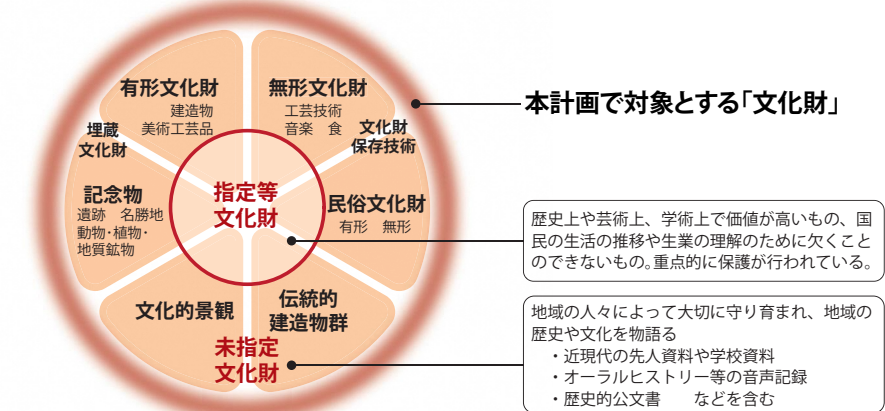
計画期間

本計画の期間は、次期「奥州市総合計画」（令和9年度～）及び次期「奥州市教育振興基本計画」（令和9年度～）の改定に合わせ、令和9年（2026）度～令和18年（2036）度の10年間とします。期間は、前期（1年目～5年目）・後期（6年目～10年目）に分けて計画します。



計画の対象

市内には、指定等文化財が313件あり、重点的に保護が行われています。一方で、市内には、地域の人々によって大切に守り伝えられてきた未指定文化財が数多く所在しています。本計画では、文化財保護法で規定されている「文化財」に加え、近現代の先人資料や学校資料、オーラルヒストリー等の音声記録、歴史的公文書などの比較的新しい時代の文化財を含め、指定の有無に関わらず「文化財」として対象とします。



目指すべき将来像と保存・活用の方向性

「奥州市民憲章」で示されている、奥州市の「歴史・伝統・自然」は市民の誇りとなるものです。これらを着実に後世に伝えるため、「産学官民が一体となって奥州市の文化財を社会に開き、次世代に伝える」ことを目指すべき将来像とします。

この将来像に向けて文化財の保存と活用に関する取り組みを一層活性化させるため、4つの方向性を定め、事業を推進します。

方向性	課題	方針	措置
1 奥州市の特色を伝える 文化財の調査・研究	未指定文化財の調査が不十分	未指定文化財調査の実施	1 未指定文化財の把握調査 2 文化的景観の調査（把握・詳細） 3 美術工芸品（彫刻）の調査（把握・詳細） 4 先人資料の調査（把握・詳細） 5 平泉及び平泉前史の遺跡の調査（把握・詳細） 6 無形民俗文化財の記録調査 7 埋蔵文化財の調査（記録・詳細） 8 歴史的建造物の調査（記録・詳細） 9 美術工芸品（古文書・歴史資料）の詳細調査 10 未指定無形民俗文化財の詳細調査
	収蔵文化財の整理が不十分	収蔵文化財の整理	11 市内施設管理資料の現況調査 12 収蔵文化財等の詳細調査 13 考古資料管理台帳の整備
	評価が不十分な文化財がある	文化財指定等の推進	14 市指定文化財指定基準の明文化 15 未指定文化財の指定等検討 16 市指定文化財候補案件の情報集約 17 県指定文化財候補案件の情報提供
2 奥州市のアイデンティティ となる文化財の保存	文化財管理状況の把握	文化財保存体制の強化	18 文化財の保存に関する窓口の周知 19 文化財保護調査員の委嘱 20 文化財パトロールの実施 21 指定無形民俗文化財の後継者育成支援 22 文化財関係職員の知識・技術向上
	文化財の劣化	文化財の修繕等実施	23 指定文化財保護事業への支援 24 旧高橋家住宅修理事業 25 正法寺本堂等修理事業 26 後藤伯記念公民館修理事業 27 齋藤子爵水沢文庫修理事業 28 旧安倍家住宅修理事業 29 歴史的建造物の計画的修繕 30 黒石の十三塚の修理及び環境整備
	防災・防犯対策が不十分	防災・防犯体制の充実	31 文化財被災リスクの把握 32 文化財レスキューに関する体制の整備 33 文化財防火デー関連事業の実施 34 旧後藤家住宅消防設備の修理事業 35 文化財防犯体制の整備
	文化財に関わる担い手の不足	文化財保存の担い手育成	36 学校教育との連携 37 学校向けの文化財施設情報等の充実 38 古文書解読事業の実施 39 おうしゅう伝統文化親子教室等の開催 40 冬の3館ウォークの開催 41 先人顕彰に関する市民活動の支援 42 牛の博物館ボランティアの育成・活動支援
3 多様な担い手による 文化財の活用	文化財を目にする機会が少ない	文化財の公開促進	43 文化財施設の運営 44 地区における文化財の活用 45 市所有歴史的建造物の公開 46 旧臨時緯度観測所関係施設の公開 47 国登録有形文化財等の保存活用計画策定 48 国指定文化財等の公開促進 49 奥州市郷土芸能祭の実施 50 無形民俗文化財演舞動画のインターネット公開 51 歴史公園の周知・公開 52 歴史公園再編等の検討
	史跡等が十分に活かされていない	史跡等の保護・管理と活用	53 史跡等の環境整備 54 長者ヶ原廃寺跡の整備 55 白鳥館遺跡の整備 56 大清水上遺跡の整備 57 角塚古墳の整備 58 接待館遺跡の整備 59 胆沢城跡保存活用計画の改定
	観光への文化財の活用が不十分	観光分野での文化財活用の促進	60 いわて平泉歴史文化観光地域計画の推進 61 ガイドボランティアとの連携 62 前沢牛まつり・奥州前沢商工まつりへの協力 63 日高火防祭の開催 64 市内の祭り行事への民俗芸能団体出演 65 えさし藤原の郷での定期公演 66 胆沢城跡での事業実施
	文化財の情報発信が不十分	調査成果の情報発信強化	67 地域史研究講座の開催 68 埋蔵文化財調査報告会の開催 69 奥州市文化財調査速報展の開催 70 文化財デジタルアーカイブの充実 71 ホームページ・SNS での情報発信 72 画像利用基準の見直し
4 文化財の情報資源化と ネットワークの構築	多様な担い手が参加する文化財の保存・活用体制の構築が必要	広域連携による保存・活用体制の強化	73 市内無形民俗文化財保持団体の連携促進 74 産学官三者連携事業の推進 75 研究機関との共同研究等の実施 76 動物の標本づくり自主練習の開催 77 ひらいずみ遺産の普及啓発 78 定住自立圏域内の小中学生の博物館・記念館の無料化 79 定住自立圏域内の民俗芸能振興事業の実施 80 文化財保存活用支援団体指定の検討
	中核となる施設の整備	文化財施設の整備	81 文化財施設再編等検討委員会の開催 82 文化財に関するニーズ調査 83 文化財施設再編